

教科 名	国語	科 目 名	国語表現 I	履修クラス	2年必修選択	
				担 当 者	湯沢・中里・長島・宮崎	
使用教科書		「国語表現 I 改訂版」東京書籍			履修単位数	2
副教材等		「基礎からの国語表現の実践」京都書房				

学習のねらい・育てたい力・目標	評価の観点・評価方法など
文章を書き、読むために必要な知識を身につける。 感想文、手紙文、さらに小論文の書き方を身につける。	文章表現力、及び漢字・語彙の力がついたかを定期的、継続的に観測する。定期考査・小テスト・提出物・学習意欲等を総合的に判断し、評価する。

年 間 授 業 計 画			
月	予定 時数	単 元	学 習 内 容 ・ 学 習 活 動
4	中間 考査 まで 1 2	文章の基礎	仮名づかい・送り仮名・文字の使い分け 句読点・表記符号の使い方 同音異義語・同訓異字・類義語・慣用的な表現 正しい敬語
5			
6	期末 考査 まで 1 4	文章の基礎	文の乱れ・明快な表現・文を短く・文体の統一 事実を客観的に書く 比喩の効果的な使い方 推敲の仕方
7			
9	中間 考査 まで 1 4	文章の基礎 スピーチ入 門	文の乱れ・明快な表現・文を短く・文体の統一 事実を客観的に書く 比喩の効果的な使い方 推敲の仕方 スピーチの練習
10			
11	期末 考査 まで 1 4	古典の表現 に学ぶ 文章の基礎	「枕草子」に参加してみる 段落を分けて書く 詳しく書く 構想表を作るレポートの実践
12			
1	学期 末考 査ま で 1 6	文章表現の 実践	短い意見・感想文を書く 議論文を書く 手紙文を書く 課題作文を書く 感想文を書く
2			
3			

担当者からのメッセージ (授業の受け方・家庭学習の仕方・受験勉強の仕方等)
授業は、君たちが大学や社会に出てから役に立つようにするための実践的な授業です。文書が苦手な人も正しい文章を書くためにはどのような点に注意しなければならないかを学びながら、素直に一生懸命に書くようにして下さい。教科書以外にも、書物・新聞等さまざまな文章に接し、深く考える習慣を身につけ、広く社会に目を向けるようにしてほしいと思います。

